

シルク・ドゥ・ソレイユで 世界を巡る住み旅:  
スーツケース2つに人生を積み込む



発売日: 2018年5月1日  
出版: スターアップ出版  
著者: 宮 海彦  
ページ: 82  
PDF

日本でも常に注目を集め続ける世界最高峰エンターテインメントグループ、シルク・ドゥ・ソレイユの舞台裏。

世界最高峰とはどんな環境なのか？連載形式の第1作目はシルク流の旅と生活。

スーツケース2つに荷物を積み込み、シルク・ドゥ・ソレイユ、ツアーショーの1つ「トータル」に創作段階から携わり9年以上世界中を公演してまわる著者。

言葉も文化も違う個性的な一流たちが集う中、日本人で初めてシルク・ドゥ・ソレイユのショーのロゴとして抜擢され、演目のキャプテン兼コーチも任される著者が住みながら旅をする“住み旅”を通して得た経験や世界基準、価値観の違いを解説。

そもそもどこに住んでるの？  
海外生活を送る上で楽しいこと、大変なことは？  
夢のような仕事をしながら大好きな旅ができるってどんな感じ？  
食事はどうしてるの？

ツアー生活の内側やシルク内の恋愛事情まで、外からでは絶対に見られないシルク・ドゥ・ソレイユの裏側を面白おかしく、赤裸々に綴ります。

## 【目次】

### はじめに

1. スーツケース2つに人生を積み込む
2. 住むという旅 - 住み旅 -
3. 食べ過ぎ注意?! 美味しいものだらけのツアー食
4. 移動生活っていいの?! 悪いの?!
5. ずば抜けた適応能力?! どんなトコでもなんとかしちゃうシルク人
6. これだけは手放せない?! シルク人のこだわりのツアーグッズ
7. 全てが良い思い出?! 滞在先あれこれ
8. シルク流ダイエットってあるの?!
9. モノの価値観とモノの価値
10. マネから始まり、マネで終わる
11. 多少の出費で勉強する
12. リアルジブシー生活?!
13. 理想郷は存在しない?
14. 二日酔いの回復日?! シルク流休日の過ごし方
15. ドタバタなラスト1週間
16. シルク内の恋愛事情 vol.1

## 【著者プロフィール】

宮 海彦(みや うみひこ)

幼少期より体操をはじめ様々なスポーツに取り組む。小学校6年生から本格的に体操競技に絞り朝日生命体操クラブ(現:塚原体操センター)にて本格的に練習を開始。親子で金メダリストの塚原氏、ソビエト連邦の金メダリスト、アンドレ・アノフ氏、日本代表コーチを歴任している森泉貴博氏に師事。中学では団体3位。高校ではゆかと跳馬で全国優勝する。大学は

学業も重視し、明治大学経営学部を選択。オリンピックを目指すも体操競技の成績は思うように伸びず引退を決める。大学卒業後、就職活動はせず青年海外協力隊一本に絞り、合格。パナマ共和国へ赴任。2年間体操競技の発展と過疎地での体育教育の普及活動に励む。言葉や文化、環境の異なる地で様々なことを経験し、試行錯誤、苦悩しながらも奮闘する。その後、新たな目標を定め渡米。就労ビザもコネも無い中、体操クラブを直談判して回り無事就職。アメリカで2年半働き、目標に近づきつつある頃、人生に欠けているものを埋めるべくシルク・ドゥ・ソレイユに応募。すぐにキャスティングチームから声がかかり、新規オープンするショーのアーティストとして参加。ショーの名前がトーテムと発表され、そのロゴのキャラクターに抜擢。約9年間トーテムの顔として43都市、11カ国で公演（2018年5月現在）。チーム内、会社からも信頼を得て、コーチも兼任。今後も舞台や社会起業家として様々なことに挑戦して行く予定。

<https://rapidgator.net/file/e530f8677de14a92811d0508ab8790ca/fWHxbRVZJ.pdf.rar.htm>  
↓